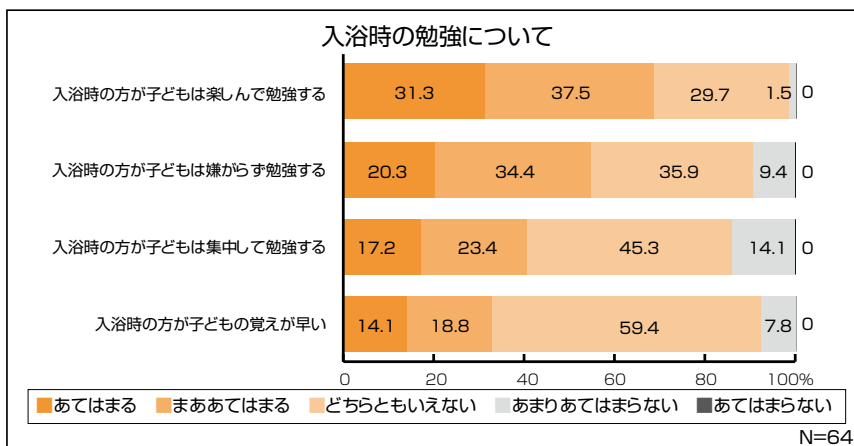


4 お風呂は集中できる場所 楽しみながら、勉強も

子どもが小学校にあがると、親子のコミュニケーションは水遊びだけにとどまりません。親子で一緒に楽しみながら、ゲーム感覚でいろいろなことを覚える等、学びの場につながっていきます。

お風呂はテレビや本があるリビングと違い、何もない空間だからこそ、子どもが集中できる場所として貴重な存在にもなります。



2007年 東京ガス調べ

どんな勉強をしているの？

- ひらがな表を浴室に貼っている。室内だと気が散って見ないため。
- スポンジの九九シートがお風呂にあるので、遊びながら九九を練習する。
- 湯船に浸かっている間に、遊びで数を数えることによって数字を遊びながら覚える。
- 英語教育をしているので英語の質疑応答。
リビングにはテレビや本など集中を削がれてしまうものがたくさんあるが、お風呂には邪魔をするものがなく集中してコミュニケーションを取りながら勉強できる。
- 曜日、月、くだものなど簡単な英語の単語をだしあう。
- 日本地図が貼ってあって、都道府県クイズをする。
- ペンなどを用いなくても、湯気で曇ったタイルに書いて楽しく学べる。
- お風呂場のほうが集中力がありすぐ覚えてくれる。
- 集中できる。ちょっとづつでも、一緒に覚える。

親子で一緒に何かを覚えたり、クイズを出しあったりすることは、子どもにとって楽しい遊びの一つ。

邪魔するものがなにもなく、親子で向き合えるお風呂は

「楽しみながら学ぶ」最適な場所ともいえそうです。

最近では、お風呂に貼るシートにもいろいろな種類が増えてきました。

